



特定非営利活動法人

神戸日独協会会報

BERICHTE DER NPO JAPANISCH-DEUTSCHEN GESELLSCHAFT KOBE

Nr. 393

April 2024

NPO法人 神戸日独協会

〒651-0085 兵庫県神戸市中央区八幡通2-1-20 磯上公園内

神戸リガッタ・アンド・アスレティック倶楽部内

TEL/FAX 078-230-8150

郵便振替 01160-9-18199

E-mail: info@jdg-kobe.org URL <http://www.jdg-kobe.org/>

NPO JAPANISCH-DEUTSCHE
GESELLSCHAFT KOBE

Bei Kobe Regatta & Athletic Club

In Isogami-Park Yahata-Dori 2-1-20

Chuo-ku Kobe, Japan 〒651-0085

2024年度通常総会開催のお知らせ

NPO 法人神戸日独協会は、2024年度通常総会を下記の要領にて開催いたします。
総会後には会員懇親会を開催し、会員の皆様と楽しい時間を過ごしたいと思っております。
総会と会員懇親会に、より多くの会員のご出席・ご参加を心よりお待ちしております。

2024年度通常総会

日 時： 2024年5月19日(日) 16:00～17:00

会 場： 神戸リガッタ・アンド・アスレチック倶楽部ホール(2階)

(神戸市中央区八幡通2-1-20 磯上公園内)

道路の上をポートライナーの走っている大通りを南方へ向かい、左側)

議 題： 追って「総会資料」にてお知らせします。

※ 会員の皆様には「総会開催案内」と「総会資料」を5月中旬にお送りいたします。

ご出・欠席のお返事は5月17日(金)までをお願いいたします。

会員懇親会

日 時： 2024年5月19日(日) 17:15～19:00 (総会終了後)

会 場： 神戸リガッタ・アンド・アスレチック倶楽部ホール

会 費： 5000円 (飲物は各自払い)

会費は当日会場にてお払いください。

申 込： 5月15日(水)までに事務室へメール・電話・ファックスでお申し込みください。

ドイツ総領事館150周年記念祭

„Arts & Diplo Beats“のご案内

ドイツ総領事館主催の生誕祭が下記のように開催されます。

日時：2024年5月10日 18:30～22:30

会場：大阪中之島美術館2F（大阪市北区中之島4-3-1）

参加費：入場無料

申込：5月1日(水)までに、氏名・フリガナ・メールアドレスを event@osak.diplo.de まで。

プログラム（入退場自由）

18:30 Open DJ Raku（－ 20:30）

18:55 ダンスパフォーマンス（大石裕香/振付師・ダンサー、松村和美/チェリスト）

19:00 ウェルカム・スピーチ

20:00 アートパフォーマンス（植松奎二）

20:30 DJ Yoko（－ 22:30）

21:15 Blumio（ドイツ生まれドイツ育ちの日本人ラッパー）

22:30 Close

音楽とアートとダンス、記念制作マンガ等のほか、ドリンクとおつまみのご用意があるとのことです。お友達ご家族とお誘いあわせの上、ご参加ください。

《予告》

神戸日独協会主催

大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館開設 150 周年記念特別講演会

「神戸での日独交流 ～ 現状と展望」

ドイツ総領事館は150年前にドイツ(当時プロイセン)との交流の始まりと共に神戸に設立され、神戸の発展と密接に関わってきました。総領事館は阪神大震災で大阪へ移転後も変わらずに神戸での日独交流の支柱となっています。

近年 IT 技術の急速な進歩やコロナ禍による生活の変容のため、神戸での国際交流も大きく変わり、神戸での経済・産業状況も大きく変化しています。神戸での日独間での人的・経済的・産業的交流の現状を理解し将来への展望を知ることは、今後の日独交流にとって極めて肝要なことです。

神戸日独協会はドイツ総領事館開設150周年を記念して講演会と祝賀会を開催します。

日時：2024年6月23日(日)15:00～

会場：神戸リガッタ・アンド・アスレティック倶楽部ホール

講演者：ドイツ総領事メラニー・ザクシナー氏、

元ドイツ大使神余隆博氏、元ハンブルク総領事小坂節雄氏

詳細が決まり次第、ホームページ・会報次号にてお知らせします。

主催行事報告



「早春コンサート」を聴きました

会員 清水裕子

2024年3月17日(日)に神戸日独協会主催の「早春コンサート」が開催されました。

菜種梅雨の足元の悪い中、会員や出演者のご友人など約30名が聴きに来られ、「春」をテーマにした曲目を楽しみました。

第一部は、福田可織さんのピアノと後藤彩子さんのビオラ(福田さんの伴奏)で、シューマンの楽曲を中心に演奏されていたので、会場はロマン派の作品の華やかな雰囲気になりました。お二人は留学先でも一緒に演奏されていたそうで、息ピッタリのパフォーマンスは、一足早い春を感じるものになっていました。

第二部は上杉恵一さんのヴァイオリン独奏とピアノ独奏で始まりました。上杉さんは、子供の頃から独学でピアノを始められ、ヴァイオリンは大学時代からとの事でした。メンデルスゾーンの「春の歌」は有名な曲ですがとても難しく、これを独学でマスターされた事には大変驚きました。

最後は、マティアス・クーセギさんの歌とパーカッション演奏でした。ハンガリーのフォークソングを初めて聞きましたが、戦争が題材の歌だったからかもしれませんが、とても物悲しいメロディーで心にズシンと響くものがありました。ウドウやジェンベといったアフリカの珍しい打楽器やカホン(南米の打楽器)を使った演奏は、リズムだけなのにその国の情景が目には浮かぶようでした。

神戸日独協会には音楽関係者も多いので、主催コンサートではいろいろな方の演奏を聴く事が出来ます。今回の会場になった神戸リガッタ・アンド・アスレチック倶楽部2F ホールは演奏者とお客様の距離が近いので、アットホームな雰囲気です演奏出来そうだと思います。

これからも素晴らしい演奏を楽しみにしています。

映画会 『フェモクラシー 不屈の女たち』に参加して

原題 „Die Unbeugsamen. Mit den Pionierinnen der Bonner Republik“

会員 吉川 充子

原題の形容詞 unbeugsam は辞書で調べたところ、「意思を曲げようとしない、不撓不屈の、妥協しない」という意味である。戦後西ドイツ連邦議会で、「政治や権力は女性に向かない」という風潮と多数の男性議員の中で男女平等に基づく民主的な政策決定を求め活動してきた女性議員たちを描いたドキュメンタリー映画である。映画上映の2週間前の3月8日は、「国際女性デー」だった。上映当日の3月23日、メラニー・ザクシンガー・ドイツ総領事が来られ、次のような趣旨のご挨拶をされた。

「昨年9月に大阪・神戸総領事に赴任されたこと、領事ご自身が女性として初めての総領事であること、映画に登場する女性議員の活動のお陰で、現在は 30%の議員が女性であるが(日本は

10%)、目標50%に至る迄、女性は活動と抵抗が必要である。と同時に男性の支援も必要である。本日女性と共に男性の方々にも映画を見て頂けるのはとても嬉しい。」

鑑賞後、戦後ドイツ史とも複雑に絡む内容は一度見ただけで理解するのはとても難しいと感じた。映画に登場する女性議員たちの数も多くよく判らないままに話は進んでいった。当日配布された「背景情報」のチラシを後で読み、理解が進んだように思う。

特に印象に残っているのは次の箇所である。

*冒頭のドボルザークの「新世界」の音楽と「旧世界」の男性だらけの社会の対比の映像。

*男性の発言「女性の悩みは二つある。①何を着るか？②何を料理するか？」

*昔は、通りの名前は、有名な男性の名前のみだったが、現在は女性の名前もある。

*ヴァルトラウト・ショッペ(緑の党)の刑法218条「妊娠中絶」を取り上げた演説

1983年5月に連邦議会で行われた演説で、彼女は非常に淡々とした口調で妊娠・子育て・家庭生活について男性と女性が平等に責任を持つことが絶対に必要だと述べた。

*クリスタ・ニッケルス(同盟90/緑の党)の「国防軍犯罪展」に関する演説。

「ドイツ国防軍犯罪展」は1995年にハンブルクから始まり、ドイツ全国を巡回した。それまでは、第二次世界大戦のナチスによる犯罪行為は広く流布していたが、国防軍の兵士の殺人行為や人権侵害への加担等についてはドイツ社会では語られなかった。彼女は連邦議会ですべて個人的な体験、即ち、戦地に送られ戦場で戦った経験については語っても「(敵)殺害行為」については沈黙を続けた多くの兵隊たちの一人、彼女の父親について発言した。1997年「同盟90/緑の党」は連邦議会での展示会を行うよう要求したが、左派のPDS以外のすべての党が反対し否決され実現しなかった。

我が国の戦後についても考えさせられる。戦前・戦中・戦後アジアの近隣国とどういう歴史を歩んできたかを学んで初めて、アジアの人達と交流し共生ができると思う。かつて西独首相ブレントノ「自己の歴史を忘れる者は心も痛む」と語っている。

上映後、総領事の「5月10日のドイツ総領事館開設150周年イベント開催案内」のご挨拶で上映会は閉会した。映画会上映のためにご協力頂いたドイツ総領事および東京ドイツ文化センター、そしてこのような機会を設けて下さった日独協会の皆様に感謝します。

ドイツ歌声サロン

この会は、ドイツ歌曲・オペラの名曲、ドイツの流行歌やドイツ映画音楽、ビアソングのみならずドイツの家庭や集会で広く歌われ、日本でも親しみ歌い継がれてきたドイツの愛唱歌をも採り上げています。3ヶ月でドイツ語での歌3曲をマスターします。

5月は、4月に引き続き Heidenröslein (Sah' ein Knab' ein Röslein stehn 野薔薇 シューベルト)、Trink, trink, Brüderlein trink (飲めよ、友よ)、An die Freude (歓喜の歌、ベートーヴェン 交響曲第9番第4楽章で歌われる第一主題)を歌います。

講師：岩島 佳子さん

日時：2024年5月4日(土) 13:30~15:00

場所：神戸リガッタ・アンド・アスレチック倶楽部教室

参加費：2000円

参加条件：神戸日独協会会員以外にも多くの方のご参加をお待ちしています。ドイツ語の歌を主として歌いますが、ドイツ語が初めての方も是非ともご参加ください。

申込：事務室へメール(info@jdg-kobe.org)・電話/ファックス(078-230-8150)にて。

ハントアルバイトの会(ポーセラーツ)

昨秋より手仕事による製品作りのお好きな方の「会員サークル ハントアルバイトの会」が活動しています。カルチャー教室などでビーズ&ジュエリー刺繍やポーセラーツ等を学ぶ「ぶどうの木」を主宰している堀田真美子さんを講師としてお招きして、初めて参加の方はマグカップや小皿に、継続参加の方は希望の食器に希望の絵柄で製作します。自分のデザインによる食器作りを楽しみましょう。ご参加をお待ちしています。

講師：堀田真美子さん

日時：4月28日(日)14:00~16:00

場所：神戸日独協会教室

会費：初心者1000円、継続者3000円(材料費+窯焼き代+道具使用料)

参加条件：神戸日独協会会員以外にも多くの方のご参加をお待ちしています。

申込：事務室へメール(info@jdg-kobe.org)・電話/ファックス(078-230-8150)にて。

ドイツ語談話室

第233回ドイツ語談話室

日時：2024年3月16日(土) 14-16時

場所：神戸日独協会会議室

テーマ：夕べの時間をどう過ごすか

今回の司会は井川伸子さんが担当され、ドイツに留学していた折、ドイツの家庭では夕方家族がそろって楽しい時間を過ごしているのをみて、ドイツでは夕方の時間をとても大切にしているのが判った。一方日本では、勤めが終わって帰宅するのが夜遅くで夕方の時間がない。まして家族団らんの時間はほとんどない。自身は夕食を済ませた後ラジオやテレビを見たり、音楽を聴いて楽しんでいる。

以下に、参加者の皆さんの発言を一部紹介する。

—会社より帰宅するのが夜10時過ぎで、出勤するのが朝8時では、家で夕方なにかする時間はほとんどない。退社後、時には同僚と飲み会に行くので、帰宅は夜中過ぎとなる。

—夕食時には、お料理に合うワインやお酒をいつも頂き、家族で夕方の時間を楽しむ。食後風呂に入り、そのあとテレビを見ているとすぐに眠気が襲ってきて寝てしまう。朝はラジオを聴いたり、テレビを見ることが多い。

—ボランティアで、図書館で行われている子供たちにお話をする会に参加している。そのために、取り上げるお話の本をよく読みこんで、空で話して聞かせるように何度も訓練する。メルヘンや歴史のお話を取り上げることが多い。

—現役の頃は仕事で忙しく、夕方に何かする時間はなかった。今は退職しているが家内が療養中のため不在で、食事も自分で欲しい時に作るが、時間が不規則になってしまう。

—勤めていたころは、いつも帰宅が夜中過ぎだった。最近、何か意義ある事を始めようと思い、光ナビゲーションボードなるものを買って練習を始めた。電子ピアノボードで、楽譜に合わせて鍵盤が光り、その光に合わせて鍵盤を弾いて演奏をする。三日坊主にならないよう頑張っている。

—夕方の時間は、いつも新聞の夕刊を読み、NHK ラジオのニュースを聴くことが多い。時には、ドイツ語講座で出された宿題に取り組む。新聞を読んでいて最近特に気になるのは、第一面のトップ記事が本来あるべき記事でないことが多い事。トップ記事は、直近にあった最も重要な出来事であるべきなのに、全く関係のない記事がある。最近の新聞編集者を理解できない。

今後のドイツ語談話室の予定

第235回 2024年5月18日(土) 14-16時 テーマ: 人口問題

Protokoll der 233. Deutschen Gesprächsrunde

Zeit: Samstag, 16. März, 14 bis 16 Uhr

Thema: Wie verbringe ich die Abendzeit

Dieses Mal hatte Frau Nobuko Ikawa die Gesprächsleitung und erzählte über ihre Erfahrungen in Deutschland. Als sie in Deutschland studierte, konnte sie sehen, wie deutsche Familien abends ihre Zeit miteinander verbringen, und ihr wurde klar, dass der Abend für die Menschen in Deutschland sehr wichtig ist. In Japan hingegen haben viele Menschen abends keine Zeit, weil sie erst spät von der Arbeit nach Hause kommen. Es bleibt kaum Zeit für die Familie. Sie selbst genießt die Abendzeit nach dem Essen beim Radiohören, Fernsehen oder Musikhören.

Hier einige der Wortmeldungen zum Thema :

-Einer der Teilnehmer kommt oft nach 22.00 Uhr von der Arbeit nach Hause und geht um 8.00 Uhr wieder zur Arbeit. Daher hat er abends kaum Zeit, etwas zu Hause zu tun. Nach der Arbeit geht er manchmal noch mit seinen Kollegen etwas trinken, so dass es nach Mitternacht ist, wenn er nach Hause kommt.

-Eine Teilnehmerin trinkt immer ein Glas Wein oder Sake zum Abendessen und genießt den Abend mit der Familie. Nach dem Essen nimmt sie ein Bad und sieht fern. Dann wird sie oft sofort schläfrig und schläft ein. Morgens hört sie Radio oder sieht fern.

-Eine Teilnehmerin nimmt als freiwillige Mitarbeiterin an Erzählstunden für Kinder in einer Bibliothek teil. Sie liest Geschichten, die sie auch aufnimmt und sorgfältig übt, damit sie sie auch auswendig erzählen kann. Oft nimmt sie hierzu Märchen oder

historische Erzählungen.

-Als ein Teilnehmer noch berufstätig war, war er so sehr mit der Arbeit beschäftigt, dass er abends keine Zeit hatte, etwas zu unternehmen. Jetzt ist er im Ruhestand, aber seine Frau ist in ärztlicher Behandlung und nicht zu Hause, und so teilt er sich seine Zeit selbst ein, kocht, wann er will etc. Seine Zeiteinteilung ist sehr unregelmäßig.

-Als ein Teilnehmer noch arbeitete, kam er immer erst nach Mitternacht nach Hause. Kürzlich beschloß er, etwas Sinnvolles zu tun, und kaufte sich ein Keyboard mit optischer Navigation. Dabei leuchten die zu spielenden Tasten auf der Klaviatur auf. Er gibt sein Bestes, und bemüht sich, nicht jemand zu sein, der gleich das Handtuch wirft.

-Abends liest ein Teilnehmer normalerweise die Abendausgabe der Zeitung und hört die NHK-Radionachrichten. Gelegentlich arbeitet er an Hausaufgaben aus seinem Deutschkurs. Was ihn in letzter Zeit beim Zeitungslesen besonders stört, ist, dass die oberste Meldung auf der Titelseite oft nicht die ist, die dort stehen sollte. Die Top-Story sollte sich mit dem wichtigsten Ereignis der letzten Zeit befassen, aber es gibt viele Artikel, die nichts mit diesen Ereignissen zu tun haben. Er versteht die Zeitungsredakteure dieser Tage nicht mehr.

Nächste Treffen:

Samstag, 18. Mai 2024, 14 bis 16 Uhr. Thema: Bevölkerungsfragen

会員の広場

このコーナーは、会報を通して会員相互の交流をしていただくための「広場」です。投稿をお待ちしています。今月は休載します。

(投稿規定: MSPゴシック12ポ、A4 1枚程度まで (多くの方に投稿していただくために、字数を厳守してください)、添付にて毎月第4月曜までに事務局へ)

5月の企画委員会開催のお知らせ

この会は協会と会員との交流のための会です。昨年8月より会員の参加を得て、協会の事業について種々の企画のご提案をいただき、協会の活動は活発化しています。是非とも参加し、協会の運営や企画などにご意見を下さい。

日 時: 2024年5月11日(土) 15:00~17:00

場 所: 神戸日独協会事務室兼会議室

話 題: 新年度の事業予定、協会の発信、協会会報について。

ご出席いただける方は、事務局へ電話・メールにてご連絡ください。当日参加も可。

事務室からのお知らせ

会報印刷・発送ボランティア募集

次回の印刷と発送は5月24日(金)を予定しています。ご協力をお願いします。

印刷: kinko's 三宮店(神戸市中央区雲井通 4-2-2 マークラー神戸ビル 1F) 10:30~

発送: 神戸日独協会事務室にて、12:00~

お手伝いいただける方は事前に事務室へご連絡下さい(TEL 078-230-8150)。

行事等の写真について

会報では輪転機印刷のため写真等の掲載は略させていただきます。協会ホームページ及びSNSに掲載していますので、ぜひご覧ください。

 ホームページ Homepage	 インスタグラム Instagram	 X Twitter
--	--	--

これからの神戸日独協会の催し

日時	催し	会場	申込〆切 など
4月28日(日) 14:00~16:00	ハントアルバイトの会 (ポーセラーツ)	神戸日独協会事務室	当日参加可
5月4日(土) 13:30~15:00	ドイツ歌声サロン	神戸リガッタ・アンド・アス レティック倶楽部教室	当日参加可
5月11日(土) 15:00~17:00	企画委員会	神戸日独協会事務室	当日参加可
5月18日(土) 14:00~16:00	ドイツ語談話室	神戸日独協会事務室	当日参加可
5月19日(日) 16:00~17:00	2004年度総会	神戸リガッタ・アンド・アス レティック倶楽部ホール	5月17日(金)まで
5月19日(日) 17:15~19:00	会員懇親会	神戸リガッタ・アンド・アス レティック倶楽部ホール	5月15日(水)まで